

# (株)加藤製作所(製造業(金属部品)・中津川市)

## 時代に先駆けた高齢者雇用の取組により、誰にとっても働きやすい会社に変化

- ・ 少子高齢化が進む地域で生産量拡大を目指し、20年以上前から高齢者を積極的に雇用
- ・ 高齢の従業員が働きやすいよう積極的に業務改善提案を取り入れ、生産品質向上につなげる
- ・ 高齢者に合わせた勤務体制整備が多能工化につながり、子育て世代の働きやすさにもつながる

中津川市において、家電、自動車から航空機まで様々な金属部品の製造を行う(株) 加藤製作所。同社はある取組で全国的に有名になりました。それは、「シルバー大作戦」と銘打った「高齢者雇用」の取組です。

### バブル崩壊後、生産量拡大のため始まった「シルバー大作戦」



中津川市にある(株)加藤製作所

きっかけは、バブル崩壊による製品単価の急落でした。これまでと同じ生産量では、売上減少の危機に直面したため、工場の365日稼働による生産量拡大を目指しました。その際、同社が頼りとしたのが、働く意欲のある高齢者です。

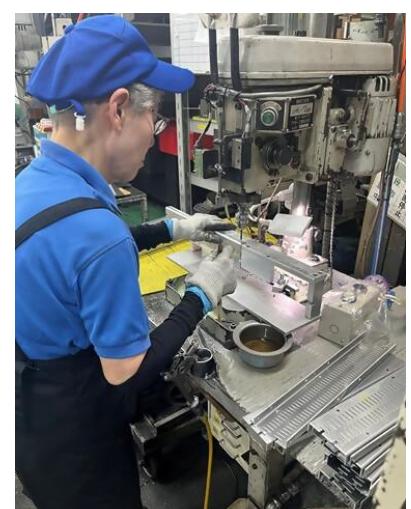
早くから少子高齢化が進んでいた中津川市において、若い世代を大量に採用す

るのは至難の業ですが、仕事を一旦リタイアした元気な高齢者が多いということに気づいた当時の社長の発案でした。土日祝日を高齢者の方が中心になって工場を稼働させる「シルバー大作戦」の始まりでした。

### 「意欲のある人求めます。ただし年齢制限あり。60歳以上の方」

平成14年に「意欲のある人求めます。男女問わず。ただし年齢制限あり。60歳以上の方」と掲げ、中津川市内で折込チラシの求人を行ったところ、電話が鳴りやまないほど応募が殺到。翌日から働きたい方など、100名以上の高齢者が応募されたのです。結果、目標の365日稼働が実現され、売上も増加しました。

現在、土日は工場を稼働していませんが、引き続き、高齢者の力を活用しており、今でも従業員の4割以上は60歳以上が占め、最高齢では81歳の方が働



最高齢の女性従業員

いています。同業他社を退職し30年以上にわたる高い溶接技術を持つ方のほか、元自衛官など様々な経験を持つ方が活躍しています。

## 高齢者目線の業務改善が、会社全体の生産品質向上にもつながる

同社では、「高齢の方に優しく」をモットーに、高齢者が働きやすくなるような業務改善提案を積極的に取り入れています。例えば、高齢により視力が落ちた従業員のために手元の照明を増設したり、床を這っていたダクトホース類は転倒防止のために全て天井に移動させるなどの改善を行いました。

この他、溶接忘れを防止するため、溶接が全て完了しないとブザーが鳴らされず、先の工程に進めない仕組にしたり、正確に溶接されているかをセンサーが確認する検査機器の導入など、高齢の従業員が働きやすいように改善しました。



工場内は転倒防止対策を実施

高齢者目線での業務改善は、若い世代の従業員にとっても働きやすさにつながることが多く、取組の結果、人為的なミスはほぼ無くなり、会社全体の生産品質の向上にもつながりました。

## 多能工化を進めた結果、子育て中の従業員の働きやすさにもつながる

さらに、高齢者に合わせた勤務体制を整備することにより、多能工化などの取組も併せて進み、子育て中の従業員の働きやすさにもつながりました。

高齢者を雇用する以上、体調不良など突発的な休暇はやむを得ませんが、それに備えて、社内の多能工化を進め、日頃から部署をまたいで協力してやりくりできる体制を取った同社では、高齢者だけでなく、子育て中の急な休みなども社内でフォローし合うことができ、子育て中でも問題なくフルタイムの正社員として働くことができています。

また、若い世代の従業員も、子育てなどを理由に勤務時間を30分ずらすなど、個人の事情に応じて、柔軟な勤務時間で働くようにしています。

## 少子高齢化社会における新しい雇用の形

時代に先駆け、20年以上前から高齢者雇用に取り組んできた同社は、今後も増加が予想される高齢者を引き続き、会社の貴重な戦力として位置付けるとともに、

地域の元気な高齢者に「生きがいと収入の道」を提供することによって、少子高齢化社会における新しい雇用の形を示していく考えです。

### 【従業員の声】

80歳を超えて働いていますが、仕事が趣味です。無事に終わって欠品もなく完成すると『やったー』とアドレナリンが出て楽しいです。

【(株) 加藤製作所】 (<https://www.katog.co.jp/>)

所在地：中津川市駒場447番地の5

従業員：91名（うち正社員39名、パート47名、技能実習生5名）

設立：昭和29年（創業：明治21年）

（令和7年10月末時点）